

学校とは違った体験ができる魅力

広い世界見て 育ってほしい

栃木県宇都宮市で生まれ育ち、高校生の時は吹奏楽部に所属。トランペット、リコーダー、ウクレレと多彩な楽器を楽しむ、みのゝれ住民劇団「演劇ファミリーMyu」で小美玉市玉里地区にお住まいの植木由紀子さんにインタビューします。



みのゝれ住民劇団 演劇ファミリーMyu

うえ き ゆ き こ
植木 由紀子さん

みのゝれと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.214

笠間市出身の夫とバイクが共通の趣味で結婚。若い頃はレースに出場したことも。夫の職場が土浦市で、実家の笠間市との中間で住まいを求め、玉里地区に定住。「近所の皆さんがとても親切で、子どもたちが小さい頃からたくさんお世話になって子育てしてきました。古き良き近所関係が残ってる地域なんですよ」と植木さん。ここに住んで良かったなと感じている、と笑顔。

娘の彩夏さんが1歳の頃から、子連れで楽器の演奏を楽しめる「みとぴよ音楽隊」に加入。みのゝれを「いいホールだよ」と聞いて、風のホールでみとぴよ音楽隊コンサートを開いたのがみのゝれとの最初の出会い。

時は数年流れ、彩夏さんが

小学校でもらってきたみのゝれ演劇ワークショップのチラシがとても良い感じだったそう。「Myuの噂は前から聞いていて、Myuが創る明るい雰囲気ミュージカルが娘に向いているなと思っていました」と植木さん。彩夏さんを体験会に連れて行くと「やりたい!」とハマり、以来7年間どっぷりMyuにのめり込みました。「いろんな世代の人たちと交流できて、見守ってもらえて、同じ舞台を創り上げる達成感も味わえます。子どもたちにとっても、学校とは違った体験ができるのが魅力です」とMyuの取り組み意義を語ります。植木さん自身も、忙しい時間をやりくりして道具や衣装づくりに参加して支えています。

植木さんは楽器を演奏するプレーヤーとしても活動しています。新婚当初は、社会人の吹奏楽団で活動。子

どもが生まれてからは、「みとぴよ音楽隊」に参加し、トランペットを担当。コロナ禍で地元の活動に目を向け、生涯学習センターコスモスのリコーダーワークショップに参加。最近ではMyuの保護者たち有志で、Myuの太田剛さんにウクレレも習い始め、数人で演奏しています。「青空の下、みのゝれ前の芝生広場で演奏するのはとても気持ちがいいですね。Myuの仲間たちはフットワークが軽いので活動がどんどん広がっています」と植木さん。

「みのゝれに関わるようになって、親子でたくさんのことを学び成長させてもらっています。子どもたちには、どんなにたくさんの人たちに関わり、広い世界を見て育ってほしいなと思っています」と笑顔で語ってくれました。

(藤田佐知子)